

D 1/2 希望に満ちて

■ 聖書 エレミヤ 29・10～14

■ 中心聖句 エレミヤ 29・11

な
ま
え

あなたがたに将来を与え、希望を与えようとするものである。

将来と希望！新年早々響きがいいねえ。

1. あなたはこの一年の計画をすでに立てていますか？

はい

いいえ

2. 「はい」と答えた人は、それはどんなことですか？

3. その計画を実現するために必要なことは何ですか？必要なものを○で囲もう。

努力 ねばり強さ 根気 お金 人の助け こね 勉強

資格 親の応援 友の協力 時間 その他（ ）

4. 今日の聖書箇所では誰かがあなたのために計画を知っているとされています。

それは誰ですか？

5. その方はどんな事をしてくださると書いていますか？（11 節）

_____と_____と_____を与える。

_____を聞く。

_____に会う。

6. そのための条件は何ですか？（ ）にある方が入ります。誰でしょう。

「それは（ ）に呼びわり、（ ）に行き、（ ）に祈り、（ ）を尋ね求める」

ことです。

★すでに計画を立てているキミも、まだのキミも、あなたのための計画を知っておられる神様からの将来と希望の約束をいただきますませんか？そのために忍耐して時を待ち、心を尽くして神様に求めませんか？

あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。（新改訳）

将来と希望を与えるものである。（新共同訳）

D 1/9 感動に満ちて

■聖書 エズラ 1・1～11

■中心聖句 エズラ 1・3

なまえ

イスラエルの神、主の宮を復興せよ。

計画を実行してくれるって？

先週、神様は私たちのための計画をすでに知っておられる事を学びました。ユダヤの人たちのための約束をされた神様はその約束通りしてくださいました。

1. 約束のみ言葉（エレミヤ 29・10）を読んでみよう。
2. 神様は約束を成就するために誰を用いましたか？
3. この人は神様を信じる人ですか？
4. この人が王になった何年目に約束が果たされましたか？
5. これらのことを見て、計画を立てられるのは誰ですか？
6. 計画を実行し、成就されるのは誰ですか？

☆この出来事を見て、確かにあなたのためにも計画を立て、成就してくださるのは神様であることを信じ、この一年も神様に求め、神様を礼拝し、従う毎日を送りませんか？

イスラエルの神、主の宮を建てるようにせよ。（新改訳）

エルサレムにいますイスラエルの神、主の神殿を建てるために、（新共同訳）

D1/16 喜びに満ちて

■聖書 ネヘミヤ 8・1~12

■中心聖句 ネヘミヤ 8・10

な
ま
え

主を喜ぶことはあなたがたの力です。

そんな喜びははじめて知った！

1. あなたにとっての喜びは何ですか？

2. それらの喜びを、あなたにとって大きい物から順に3位まで並べてみよう。

① _____

② _____

③ _____

3. 「主を喜ぶことはあなたがたの力です」とはどんなことか考えてみよう。

①このみ言葉は何を喜ぶと書いてある？

②物や出来事ではなく、人格を喜ぶとはどんなことだろう。あなたは誰かを喜んでいますか？それは誰ですか？（芸能人、歴史上の人物、身近な人など）

③その人物のことを考えるとどんな気持ちになりますか？

④目には見えない神様を喜ぶにはどうしたらいいでしょう？話し合ってみよう！

⑤神様を喜ぶとどうなるのでしょうか？今日のみ言葉を読んでみよう。

☆物やお金や出来事、また人物は時には私たちに喜ばせてくれます。でも物はいつかこわれたり、あきたりします。お金は使えば無くなります。出来事も時がたつにつれて忘れてしまいます。人にもいろんな限界があります。

しかし、神様は変わることがありません。永遠に生きて私たちに愛してくださっています。あなたも神様を喜びませんか？

悲しんではならない。あなたがたの力を主が喜ばれるからだ。（新改訳）

主を喜び祝うことこそ、あなたたちの力の源である。（新共同訳）

D1/23 ささげる愛に満ちて

■聖書 エステル 4・1～17

■中心聖句 エステル 4・16

な
ま
え

わたしがもし死なねばならないのなら、死にます。

心はどう動くかしら？

1. 学校で隣の席の友人が教科書を忘れていた。友人は自分が忘れてきたので気が引けている様子で、いっしょに見せてもらうことを誰にもたのめないで、がまんしているようだった。それに気づいたあなたは？（自分の気持ちに一番近いのは何番？）
 - ①やはり忘れ物をしたことが悪いんだから、今日くらいはがまんすればいいと思うのでほうっておく。
 - ②隣りにいるんだから、見せてあげようと思う。
 - ③わずらわしいから、しらん顔をする。
 - ④その他
2. 親せきの住む町が大地震におそわれた。親せきはみんな無事だったが、家は全壊で住むところがない。彼らのたった一つの親せきである自分の家は隣町にあり、家族は親せきの人たちを自分たちの家に来てもらうかどうかまよっている。そうでないと、彼らの住むところがないからだ。でも自分の家も部屋は少ないので、もしそうなれば、自分の部屋に子どもたちをむかえ入れなければならない。その時あなたは？（自分の気持ちに一番近いのは何番？）
 - ①いくら親せきでも、一緒に住むのは迷惑だ。よそへ行ってもらおう。
 - ②一ヶ月くらいなら来てもらってもいい。
 - ③新しい家が見つかるまで、いてもらってもいい。
 - ④その他
3. あなたの気持ちは何によって動機づけられていますか？
 - ①自分の考え
 - ②両親の教え
 - ③楽な道
 - ④あまり考えない
 - ⑤聖書のみ言葉
 - ⑥その他
3. エステルやイエス様はどんなお気持ちで、同族や私たちを救うために決断されたのでしょうか？

☆エステルは死を覚悟で同族ユダヤ民族の救いのために、王のもとへ行きました。イエス様は罪人の私たちを救うために、お生まれくださり、十字架にかかって死んでくださいました。イエス様をあなたの救い主として信じませんか？そしてイエス様が私たちにどのような判断を願っておられるのかお聞きしませんか？

私は、死ななければならぬのでしたら、死にます。(新改訳)

このために死ななければならぬのでしたら、死ぬ覚悟しております。(新共同訳)

D1/30 新しい命に満ちて

■聖書 Ⅱコリント5・11～21

■中心聖句 Ⅱコリント5・17

な
ま
え

だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。

人生が変わるような出会いがしたい

パウロはクリスチャンを迫害する人物でした。クリスチャンを捕らえ、獄に入れ、殺していました。ところがある方に出会った時から、彼は熱心なキリストの弟子となりました。それは誰に出会ったときからでしょう。

_____に出会った時から

1. あなたはあなたの人生を変えるほどの、人物に出会ったことはありますか

はい

いいえ

2. 「はい」と答えた人、それは誰ですか？

3. イエス様はパウロの人生を新しく造り変えられましたが、あなたもそのようなイエス様にお会いしたいと思いませんか？

4. 次の聖書の箇所を1人1節ずつ順番に声を出して読んでみよう。

使徒9・1～6, ヨハネ1・12

☆今までイエス様のことをあまり知りませんでしたか？あるいはよく知っていましたか？

ほとんどの人はイエス様のことを知りません。でもヨハネ1・12にあるようにイエス様のことを聞いて信じた人々には、神様は神の子として新しく造り変えてくださいます。あなたも、あなたのために十字架にかかって死んでくださり、よみがえって今も生きておられるイエス様に出会い、イエス様を信じませんか？

だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。(新改訳)
キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。(新共同訳)

D2/6 神の子として

■聖書 | ヨハネ 3・1～3

■中心聖句 | ヨハネ 3・1

なまえ

わたしたちは、すでに神の子なのである。

大きなプレゼント

1. わたしたちが神の子と呼ばれるために、誰から、何をプレゼントされましたか？

(1ヨハネ 3・1)

(だれ) から (どんな) (なに) をプレゼントされた。

2. そのプレゼントの中身は何でしたか？

3. イエス様のことを考えよう。

①イエス様が私たちにしてくださったことはなんですか？聖書の福音書を思い出しながら、話し合ってみよう。

②下の聖書箇所を読んで質問に答えてみよう。

◇イエス様がしてくださったことはなに？(1ヨハネ 3・16)

◇それはどんな愛？(ヨハネ 15・13)

4. 先週も読んだヨハネ 1・12 をもう一度読んでみよう。

◇だれが神の子とされるの？

☆あなたも今日、あなたのために死んでよみがえってくださったイエス様を信じたなら、すでに神様はあなたを神の子としてくださっています。イエス様こそ神様からの大きなプレゼントです。そのことを思って喜びませんか？

いま私たちは神の子どもです。(新改訳)

わたしたちが神の子と呼ばれるほどで、事実また、そのとおりです。(新共同訳)

D2/13 神の愛満タンに

■聖書 エペソ 5・1～6

■中心聖句 エペソ 5・2

な
ま
え

愛のうちに歩きなさい。

愛のうちに歩いているかしら？

1. 神の子とされて、愛のうちに歩いている人ってどんな人でしょうか？

あなた自身にあてはまるものに○、そうでないものに×、どちらでもないものに△をつけよう。

- () 神様に愛されていることを知っている
- () イエス様は私の罪のために死んでくださったことを信じている
- () 神様が悲しまれるようなことを考えたり、言ったり、行動したりしたくない
- () いろいろ不平を言うより、感謝の言葉がでるといいな
- () 人間が作った神様をおがもうとは思わない
- () 私にはできないこと、愛せないことがいっぱいあるけど、神様がいつもいっしょにいてくださって、助けてくださることを信じてお祈りしたい

2. 自分の気持ちを確認できましたか？その結果に満足ですか？

はい

いいえ

3. 「いいえ」の人にはどんな点が不満ですか？

4. ○が6この人：これからも神様を信じて、愛のうちに歩もう。

×や△がある人：神様はあなたを造り、あなたを愛しておられます。あなたの弱さもあなたの悲しみも全部知っていて愛しておられます。天地をお造りになった神様はあなたを造り、愛し、とても大切に思っておられます。そのことを信じてほしいなあ。

☆あなたは愛のうちに歩いていますか？毎日愛のうちに歩けるように、イエス様を信じてイエス様がいつもいっしょに歩いてくださることを信じませんか？

愛のうちに歩みなさい。(新改訳)

あなたがたも愛によって歩みなさい。(新共同訳)

D2/20 光の子として歩こう

■聖書 エペソ 5・7～14

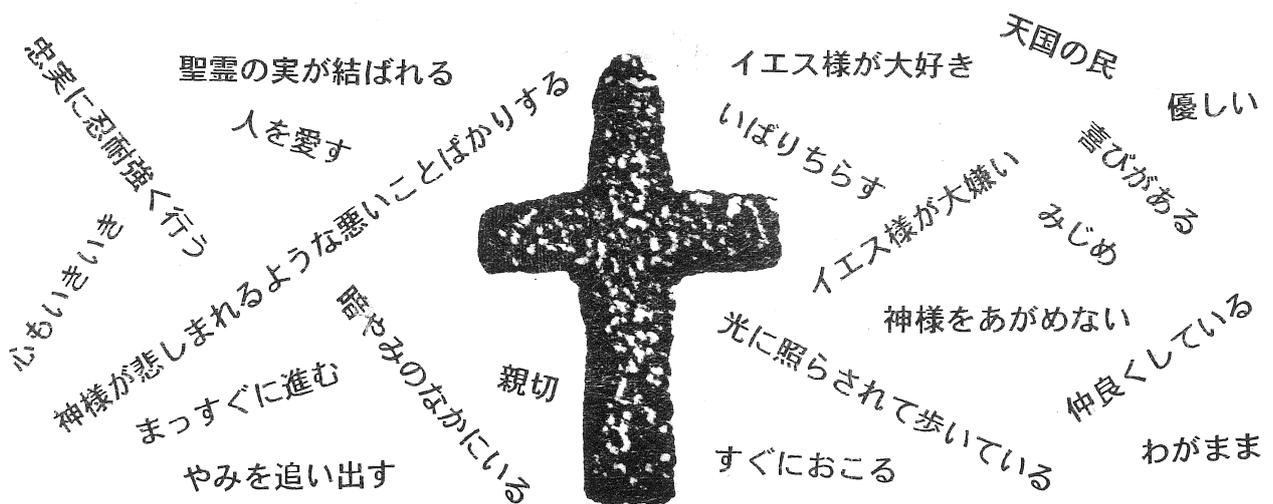
■中心聖句 エペソ 5・8

なまえ

光の子らしく歩きなさい。

神の子とされた私たちはどんな特徴があるの？

1. イエス様を信じ受け入れた人々は、神の子とされました（ヨハネ 1・12）。では神の子の特徴は何だろう。今日の聖書の箇所にはその特徴の1つが書いてあります。
_____の子
2. 下には光の子とやみの子がいっしょに住んでいます。イエス様は十字架にかかって私たちをやみから救い出し、光の子としてくださいました。光とやみを見分けて、光だけを○で囲もう。



3. もし光の子がいなくなったら、この世界はどうなると思いますか？
4. もし十字架がなかったら、この世界はどうなっていたと思いますか？

☆私たちは光の子もやみの子もいっしょに住んでいる世界に生きています。かつてはやみであった私たちを、イエス様は十字架にかかって救い出し、光の子としてくださいました。暗ければ暗いほど、光は輝きます。あなたを救い出して光の子にしてくださいましたイエス様を信じて、どんなに暗い中に住んでいても光の子として歩き続けませんか？

光の子どもらしく歩みなさい。（新改訳）

光の子として歩みなさい。（新共同訳）

D2/27 賢い者のように歩こう

■聖書 エペソ 5・15～21
 ■中心聖句 エペソ 5・15、16

な
ま
え

賢い者のように歩き、今の時を生かして用いなさい。

勉強できなくても賢く歩ける？

1. 2月から学んできたことをまとめてみよう。

<神の子の歩き方>

♡愛のうちに：神の子だから、神様に愛されて歩いています。

♡光の子として：人間が犬ではないように、神によってうまれた人もやみの子ではなく光の子として歩いています。

♡賢い者のように：賢い者を模範として歩いています。

2. <今日のテーマ> 賢い者のように歩くってどんなこと？

マタイ7・24～27を読んでみよう。そこには賢い人のことが書かれています。

	賢い人	愚かな人
どこに自分の家を建てますか？		
家を建てる大変さはどうですか？		
心の土台は何ですか？		
嵐がやってきた時どうなりましたか？		
あなたはどちらの人のように歩きたいですか？○を！		

(参考) とても大変、苦勞する、楽、神様、神のみ言葉、この世の楽しみ、好きなこと、お酒でよっぱらったようにふらふらした心(上の表で家を建てる大変さや心の土台の項目で使えるよ)

☆歩き方って大事だよね。そして歩き方とは生き方です。あなたも愛のうちに、光の子として、賢い人を模範に歩きませんか？あなたもイエス様を信じたら、その様に歩けると思いませんか？

賢い人のように歩んでいるかどうか、よくよく注意し、機会を十分に生かして用いなさい。(新改訳)
 賢い者として、細かく気を配って歩みなさい。時をよく用いなさい。(新共同訳)

D 3/6 いのちの冠をめざして！

■聖書 黙示録 2・8～11

■中心聖句 黙示録 2・10

な
ま
え

死に至るまで忠実であれ。そうすれば、いのちの冠を与えよう。

忠実

あなたはこんなことはなかったですか。

- ・ あなたは、教会にいきたくないと思ったことがありますか？
その時の気持ちはどうでしたか？
- ・ あなたは、イエス様を信じていることでイジメにあったことがありますか？
その時の気持ちはどうでしたか？
- ・ あなたは、はげまされた経験はありますか？
その時の気持ちはどうでしたか？

次の言葉はイエス様のことばです。信仰のために迫害され仕事をさせてもらえずに極度の貧しい生活をしているクリスチャンに語られた言葉です。

イエス様の言葉を聞いて受ける気持ちを書いて見ましょう。

1. わたしは、あなたの苦難や、貧しさを知っている。
2. しかし実際は、あなたは富んでいるのだ。(参考マルコ 10・29～30)
3. あなたの受けようとする苦しみを恐れてはならない。
4. 見よ、悪魔が、あなたがたのうちのある者をためすために。
5. 死に至るまで忠実であれ。
6. そうすれば、いのちの冠を与えよう。(冠とは、競技の勝利者に与えられる冠の事)

死に至るまで忠実でありなさい。そうすれば、わたしはあなたにいのちの冠を与えよう。(新改訳)
死に至るまで忠実であれ。そうすれば、あなたに命の冠を授けよう。(新共同訳)

D 3/13 イエス様を心の王座に！

■聖書 黙示録 3・14～22

■中心聖句 黙示録 3・20

な
ま
え

見よ、わたしは戸の外に立って、たたいている。

戸をあけよ

1. イエス様が戸をたたいている姿を想像しながら気づくことを書いてみよう。

2. イエス様の方から尋ねてきてくださったことについて、あなたはどのように思いますか？

3. イエス様は戸が開かれるまで、お待ちくださることについて、あなたはどのように思いますか？

4. 戸外でイエス様が立ち続けておられることについて、あなたはどのように思いますか？

5. あなたはどんな方とともに食事がしたいですか？

6. イエス様をあなたの心にお迎えするために、あなたのすることはなんですか？

7. あなたが心の戸を開いたらイエス様は今、どこにおられますか？

8. なぜ、あなたの心の中にイエス様がおられると言えるのですか？

見よ。わたしは、戸の外に立ってたたく。(新改訳)

見よ、わたしは戸口に立って、たたいている。(新共同訳)

D 3/20 どこでも希望が！

■聖書 ルカ 23・39～43

■中心聖句 ルカ 23・43

な
ま
え

あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう。

信じる

1. あなたが救われるために必要なことは何ですか？必要と思われる事を書いてみてください。

2. 聖書の中の2人目の犯罪人がイエス様に言った言葉であなたは、彼が救われると思いますか？

彼の言葉⇒「神を恐れないのか」。(40節)「この方は何も悪いことをしたのではない」。(41節)「こうなったのは当然だ」。(41節)「わたしを思い出してください」。(42節)

3. 2人目の犯罪人にイエス様が言われた言葉は、彼がどうなったとあなたは思いますか？

イエスの言葉⇒「きょう」。(43節)「わたしといっしょに」。(43節)「パラダイスにいるであろう」。(43節)

4. あなたが今日、イエス・キリストを信じて救われるに必要な言葉を書いて下さい。

あなたが救われるために、イエス様に語る言葉⇒

★信じるとは、どうすることかわかりますか？

あなたは手術をされた経験がありますか、またされた方を知っていますか？

手術を受ける人はからだのすべてをお医者さんにおまかせします。信じるとは、あなたのすべてを神様におまかせすることです。

あなたも、あの十字架上で救われた人のように、イエス様の愛あるお言葉に心の目が開かれて神を信じ、罪を悔い改め、救いを求めませんか？

あなたの担当の先生と共にお祈りしていただきましょう。

あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます。(新改訳)

あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる。(新共同訳)

D 3/27 最高の幸せ

■聖書 | テサロニケ 4・13～18

■中心聖句 | テサロニケ 4・17

な
ま
え

空中で主に会い、こうして、いつも主と共にいるであろう。

すごい望みだ！

1. ルカ 24・1～10 を読んでみよう。

・墓の中にイエス様のからだはありましたか？

・みつかいは6～7節でイエス様はどうなったと言いましたか？

2. | テサロニケ 4・13～18 を読んで答えよう。

・イエス様を信じて死んだ人々はどうなりましたか？

(14節)

・イエス様を信じて死んだ人々はどのようなことがおこった時によみがえりますか？

(16節)

・イエス様が天から下って来られた時、イエス様を信じている人々はどうなりますか？

(17節)

①

②

③

3. あなたは、これらの出来事をどう思いますか？

★イエス様を知らない多くの人々は死後どうなるかを恐れます、また永遠をどこで過ごすのかわかりません。けれどもイエス様と同じように、復活し、イエス様やイエス様を信じる人々と再会する希望を持っています。

あなたも復活されたイエス様と同じように復活することを信じませんか？

空中で主と会うのです。このようにして、私たちは、いつまでも主とともにいることとなります。(新改訳)

空中で主と出会うために、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられます。このようにして、わたしたちはいつまでも主と共にいることとなります。(新共同訳)